

会 議 録

会議名	令和元年度 第3回印西市子ども・子育て会議
開催日時	令和元年12月17日(火) 午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	印西市文化ホール2階多目的室
出席委員	西村 信会長、山田 葉子委員、武藤 茂委員、古賀 一人委員、岩井 基委員 松山 毅委員、海老原 由美委員、鈴木 寧子委員、篠原 裕子委員、 計 9名
欠席委員	鈴木 さおり委員、塚田 昌幸委員 計 2名
出席職員等	[健康子ども部] 部長 小川 誠一郎 [事務局] 子育て支援課 高橋 幸江、堀越 庄一、海老原 勝人、木村 裕子 [関係課] 保育課 岩井 大治、大菅 孝幸、鈴木 正子、菅谷 幸司、富田 信秀 石井 亮 健康増進課 澤田 慎一 スポーツ振興課 吉野 秀男 障がい福祉課子ども発達センター 田久保 正樹 学務課 藤代 悠子 生涯学習課 関口 節子 計 16名
傍聴者	3名
会議次第 議 題	1. 開 会 2. 委員自己紹介及び事務局紹介 【資料1】 3. 会長及び副会長の選出 【資料2】 4. 議 題 (1) 会議の運営等について ①子ども・子育て会議について 【資料3】 ②会議開催日時について ③会議録の署名について (2) 第2期子ども・子育て支援事業計画(素案)について 【資料4】 (3) 市内保育園の利用定員について 【資料5】 (4) その他 5. そ の 他 6. 閉 会
配布資料	・令和元年度 第3回印西市子ども・子育て会議 会議次第 ・【資料1】印西市子ども・子育て会議 委員名簿 ・【資料2】印西市子ども・子育て会議設置条例 ・【資料3】子ども・子育て会議について ・【資料4】第2期子ども・子育て支援事業計画(素案) ・【資料5】市内認定こども園・保育園の利用定員について

会議概要・審議経過

委嘱状の交付
健康子ども部長あいさつ
出席者9名で定足数を超過していることを報告
資料確認

1 開 会

2 委員自己紹介及び事務局紹介

委員及び事務局職員、コンサルの自己紹介

3 会長及び副会長の選出

仮議長を子育て支援課長とし進行
委員の推薦により西村委員を会長に選出
西村会長あいさつ
会長の推薦により岩井委員を副会長に選出

4 議 題

(1) 会議の運営等について

○事務局より説明

【会 長】 「会議の運営等について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委 員】 全員異議なし。

(2) 第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）について

○事務局より説明

○質疑

【委 員】 印西市の待機児童と虐待の状況はどうなっているか。

【事 務 局】 保育園の待機児童は、平成30年度、4月1日現在が133名、10月1日現在が236名、平成31年度、4月1日現在が94名、10月1日現在が273名と前年より増加している。新規虐待は、平成29年から平成30年にかけて170件増えている。相談件数も増加しており、関係部署と連携し支援を行っている。

【委 員】 印西市は、現在人口増加となっているが、今後は減少することも予測されるので、中長期のスパンで考えていく必要がある。待機児童、虐待などの問題もあわせ、市全体の重要課題をどのように捉えているのか。

【事 務 局】 市としては、5年間の計画では待機児童の解消を優先的に進める。

母子手帳交付時の保健師による問診や産後の4ヶ月児相談等で虐待などの問題を把握し、関係部署と連携して支援をしている。

印西市は子どもが増加しており、孤立感を感じる家庭が増えることも懸念されている。そこで、子育て包括支援センターの設置や子育て支援拠点を充実し、どこでも相談ができ、育児疲れを支援できる体制を構築していく。将来的に、虐待などの防止や子育て家庭の支援を圏域ごとに進める体制を検討していく。

【委員】 経験として、1歳半から孤立感を感じ、非常に辛い時期があった。子育ては、楽しいというよりは、大変な時期もありながら喜びがあるという方が強い。また、P. 42の(2)の連携に発達センターなどを含めるとよいと考える。

【会長】 印西市の子ども発達センターは、優れており、もっと宣伝をした方がよいと考える。

【会長】 「第2期子ども・子育て支援事業計画（素案）について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委員】 全員異議なし。

(2) 市内保育園の利用定員について

○事務局より説明

○質疑

【委員】 公立保育園の予定はないのか。

【事務局】 公立保育園の予定は4月にはなく、現状では今後もない。

【委員】 保育士の確保、5年間の見通し、3～5歳児についても引き続きこのように進めるのかについて教えてほしい。

【事務局】 各園で11月末に保育士の申請をしており、必要な人数に向けて採用をしている。1・2歳児で30数名の待機児童があり、特定地域型保育事業の施設の増設により対応を考えている。保育園の施設は、今後増やす予定はなく、既存の施設の増改築等で定員の確保を図っていく。

【委員】 市は各園の保育士の採用について支援はしているのか。

【事務局】 市は支援をしていない。

【委員】 保育士不足で、近隣では処遇改善の上乗せをしている所もあるが、印西市も今後必要になると考える。

【事務局】 今回は4月開園のことで、市として処遇改善の補助金は用意している。

【会長】 保育士の方が幼稚園の先生より、処遇で4万円高くなっており、子ども全体のことを考えると不公平と考える。

【委員】 採用については、保育園から決まり幼稚園となっているので、今後の展開も含め検討が必要となっている。

【会 長】 保育園は市、幼稚園は県が管轄しているので違いが出てくるので、問題提起として考えて頂きたい。

【委 員】 公立保育園の定員は増やすのか。

【事務局】 保育士の充足ができないので、公立保育園の整備は考えていない。

【委 員】 小規模の3歳児以降はどのようになるのか。

【事務局】 小規模の3歳児以降の連携施設の確保は、各事業者が確保することになっているが、市としても協力する。現状、3歳児以降が入れないことがないようにしている。

【会 長】 「市内保育園の利用定員について」は、事務局の説明でよろしいか。

【委 員】 全員異議なし。

(3) その他

○質 疑

【委 員】 印西市が子育てしやすいまちであることをもっとアピールした方がよいと考える。公園など子育ての資源が多くあるので、ボランティアなどと連携し、子育ての支援を展開できるような仕組みづくりがあってもよいと考える。

【委 員】 印西市総合福祉センターでは、多世代交流を進めているので、参加して頂きたい。市の中でも、子どもが減っているところもあり、地域性を考えながら事業計画を展開して頂きたい。

【委 員】 地域差はすごくあり、小中学校にも課題があるので、各課題を明確にし、市としての取り組みを明確にすることが必要と考える。

【会 長】 事業計画の対象は、0～18歳であるが、今は保育園・幼稚園が中心で、今後は中学、高校へと上がっていくと考える。

4 その他

○事務局より連絡事項等

・次回会議予定について

5 閉 会

令和元年度第3回子ども・子育て会議の会議録は事実と相違ないことを承認する。

令和 2年 2月 5日

子ども・子育て会議委員 山 田 葉 子

子ども・子育て会議委員 武 藤 茂